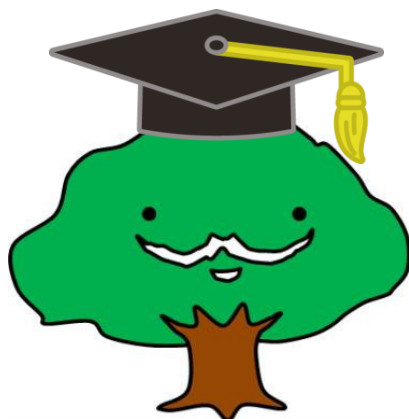


家庭学習の手引き



前橋市立敷島小学校

1 家庭学習の手引きについての考え方

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々の学習活動に取り組んでおりますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになると考えます。そこで家庭学習の手引きを作成し、保護者の皆様に配布することに致しました。保護者の皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

2 家庭学習を通して育てたい児童の姿

- ①生活時間を有効に使えることのできる児童
- ②家庭学習の習慣や方法を身に付けた児童
- ③基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童

基礎的・基本的な学習とは

- ①教科書に出ているような文章をすらすら読むこと
- ②教科書に出てくるような漢字を読んだり書いたりすること
- ③教科書に出てくるような算数の問題を解くことなど、教科書を基本とした内容です。これらはすべての教科に共通し、各学年間でつながりをもっているため、それぞれの学年で確実に身に付けてほしいことです。

3 家庭学習の習慣づけのために

① 習慣化のためのポイント

学習する時間を決めて毎日同じ時刻に取り組もう！

少しでもいいから、毎日続けよう！

テレビなどは消して、集中力を高めよう！

自分で答え合わせをしよう！

② 家庭で心がけましょう

- 早寝早起き・朝ご飯の習慣を大切にしましょう！
- 励ましてやる気を促しましょう！
- 質問されたら一緒に考えてあげましょう！
- 頑張った成果（ノートやプリント）に目を通して、努力を認めてあげましょう！



家庭学習の内容

勉強や読書をあわせて40分くらいがめやすです。

①まずは宿題をしましょう！

②宿題のあとは、自主勉強をしよう！

<こんな自主勉強をしてみよう>

1 音読(声に出して読みましょう)

- 今学習をしているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。(漢字を正しく・気持ちを込めて・聞いている人に意味が分かるように)
- 練習したら、お家の人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら音読カードや教科書に読んだしるしを付けましょう。
- まだ学習していないところも読んでみましょう。



2 漢字の練習・意味調べ

- 今までに学習した漢字をノートに練習しましょう。
- 漢字ドリルの手本をみながら、「とめ」「はね」「はらい」に注意してていねいに練習にしましょう。
- 漢字を一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
例「算」という字なら「算数」「計算」のようなじゅく語や、「計算ドリルをする」のように短文で書きましょう。
- 反対の意味の言葉、「へん」「つくり」などに気をつけて練習しましょう。
例「きへん」のつく言葉をノートに書く。例「明るい」⇔「暗い」のようにノートに書く。
- だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。
調べたらノートに意味を書いておきましょう。



3 日記や作文

- その日の出来事や、考えたこと調べたことなどについて書きましょう。
- 題名をつけて、習った漢字を使って書きましょう。

4 読書

- 図書館で借りたいろいろな本を読みましょう。
- 読み終わったら感想を書いてみましょう。



5 視写

- 教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。
- 文や言葉をかたまりでみて、一気に書き写しましょう。

6 算数の教科書やドリルの問題

- その日に学習したところの問題を、家でも練習しましょう。
(同じ問題を何度も練習するとまちがえないで早くできるようになります。)
- 問題をといたら丸付けをしましょう。
- 教科書やドリルの問題を繰り返ししましょう。

7 プリントやテストの問題

- 今までに学習したプリントやテストの問題をもう一度といてみましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し練習をしましょう。



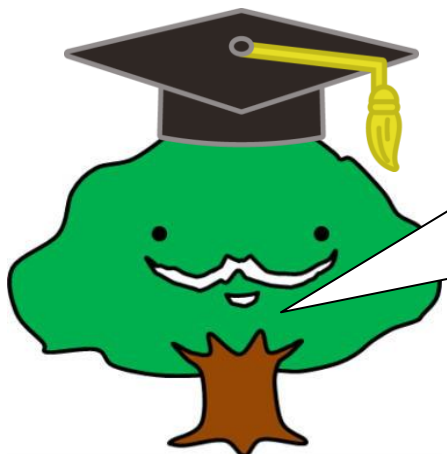
8 社会や理科

社会(予習を中心に)

- 声を出してこれから学習する内容を読みましょう。
- 分からない内容や興味のあることを図鑑や辞典やインターネットなどで調べましょう。

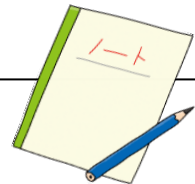
理科(復習を中心に)

- 学習した教科書内容や資料集をもう一度読んでみましょう。
- 大事な語句を中心に教科書の内容をまとめてみましょう。
- 実験観察の内容をノートにまとめてみましょう。



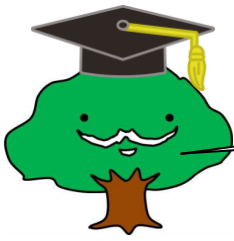
「自主勉強ノート」をつくってみよう!

授業用ノートとは別に、自主勉強ノートをつくってみましょう! くふうして、分かりやすく楽しいノートにしましょう!



～家庭での支援～

- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業の準備を子どもと一緒に確かめましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時間を意識して時計をよんだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。
- 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。
- 毎月10日のノーメディアデーでは、家族の会話を大切に楽しく過ごしましょう。



「学びをつくるしきしまの子」は、学習の約束です。